

科目名	現代文A	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	近代以降の様々な文章を読むことによって、文章を的確に理解する力を養い、生涯にわたって読書に親しみ、社会生活の充実を図る態度を育て、多様化した社会の中で生きていく力を養う。			教科書・副教材等	高等学校改訂版 新編現代文A (第一学習社)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	文章を読む楽しさを味わい、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとしている。			・授業態度、ノート、課題	
読む能力	目的に応じて、まとまりのある近代以降の文章を読み、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、ノート、課題	
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、ノート、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	単元 新しい発見 なぜ“コロンブスの卵”を描くのか		<ul style="list-style-type: none"> ・随想の読み方を習得する。 ・固定観念の持つ性質について理解する。 ・固定観念から自由になるための方法について考える。 ・現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 ・主人公の過去と、現在おかれた状況について整理し、その行動とのつながりを読み取る。 ・登場人物の心理を変化させた事物に着目し、小説全体の構造とねらいを理解する。 ・作者の別の作品と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 ・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 ・日本語のものの数え方の特徴について理解し、自らの言語生活に引きつけて考える姿勢を養う。 		中 間 ・ 期 末
	単元 小説を読む(1) 調律師のるみ子さん				
	単元 言語と文化 数え方で磨く日本語				
	単元 詩を味わう 汚れつちまつた悲しみに… 永訣の朝				
2 学 期	単元 小説を読む(2) ナイン		<ul style="list-style-type: none"> ・近代詩の鑑賞のしかたを習得する。 ・七五調のリズムの詩を読むことで、詩の音楽性や音数律の効果について理解する。 ・俗語的な言葉の持つ効果について考える。 ・作者の人生観を考えることで、自らの理想や社会のあり方について考える姿勢を養う。 ・表現上の特色について理解する。 ・妹の死を契機として、作者の心がどのように高められていったのかを読み取る。 ・作者の思いに迫り、自己の生き方に引きつけて考える。 ・近代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 ・時間の経過に伴う登場人物の性格・心理・行動の変化を読み取る。 ・作者の別の作品と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 ・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 ・国や民族によってコミュニケーションの文化に違いが生じることについて、理解を深める。 ・国際化が進む現代社会において、日本人のコミュニケーションのどのような点が問題なのかを自らの問題として考える。 		中 間 ・ 期 末
	単元 人間と文化 花女房				
	単元 小説を読む(3) 鼻 こころ				
	単元 人生の風景 出島のチューリップ				
3 学 期	単元 小説を読む(4) バグダッドの靴磨き		<ul style="list-style-type: none"> ・近代の代表的な長編小説を読解する。 ・登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかむ ・登場人物の生き方と、自己の生き方とを対比して、考えたことを自分の言葉でまとめ発表する。 		学 年 末
	単元 人間と社会 支え合うことの意味				

科目名	国語探究 I	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 (選択)
学習の到達目標	文学、評論、新聞など様々な文章を読み、理解していく上で必要な語彙や文法事項を確実に身に付けるとともに、積極的な理解、表現活動、知的言語活動のために必要な基礎的・基本的な力を身に付けさせ総合的な国語力を育成する。		教科書・副教材等	楽しく書ける 作文・小論文入門 編「四〇〇字で書こう」改訂版 (桐原書店)	
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。			・授業態度、発言、提出物の状況	
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。			・授業態度、発言、音読、ノート等のメモ書き	
書く能力	自分の考えを必要な情報を用い、適切な表現による文章にし、自分の考えを深め、発展させている。			・定期考査、授業態度、授業プリント、ノート、課題	
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。			・定期考査、授業態度、発言、課題	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	原稿用紙に慣れよう① 原稿用紙に慣れよう②		・原稿用紙の使い方を確認する。 ・禁則処理について理解する。 ・原稿用紙に意見を書く。		学 期 末
	「話し言葉」を直そう 文を短く切ろう 思いついたことを書こう		・「話し言葉」と「書き言葉」の違いを考える。 ・一文の適度な長さについて新聞記事などの文章を読み写し等を通して理解させる。		
2 学 期	「型」を使って書こう 理由を書こう① 理由を書こう② 三段構成で書こう		・まとまりの良い新聞記事やコラムを参考にして文章を書く。 ・根拠の論理的な示し方を理解する。 ・客観的な根拠の示し方を理解する。 ・小論文の構成の仕方を知る。 ・伝わりやすい表現の工夫を知る。 ・構成・表現を考え、三段構成で書いてみる。		学 期 末
	四〇〇字で書こう 実践		・既習事項を生かし、実際に四〇〇で文章を書く。 ・「論理的に書く」とはどういうことか考えながら書く。 ・小論文を書き、書いた小論文を相互に批評する。 ・時事問題を取り上げ、自分の意見を書く。 ・小論文を書き、書いた小論文を相互に批評する。		
3 学 期					学 年 末

科目名	現代社会	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 普通科 2年2組
学習の到達目標	現代の社会と人間について理解を深め、良識ある公民として必要な知識を身に付けるとともに、広い視野に立ち、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 改訂版 新現代社会 (第一学習社) フォーラム現代社会 (とうほう)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	現代社会に関わる基本的問題や事柄に対して関心が高まり、諸課題を主体的・意欲的に追究しようとし、より良い社会や生き方について考えを深めようとしている。			<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加状況 ・レポート ・授業プリント ・ノート 	
思考・判断	社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて、広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場を踏まえ主体的に考え、公正に判断することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の論述問題 ・レポートの内容 ・発表の内容や仕方 ・授業プリント 	
資料活用の技能・表現	学習に役立つ有用な情報を主体的に選択して活用することができる。また、課題を追究し、考察した結果を適切に表現することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の論述問題 ・レポートの内容 ・発表の内容や仕方 ・授業プリント 	
知識・理解	現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄や学び方、人間尊重の精神を理解し、その知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・課題プリント 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1編 私たちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的問題について基礎的事柄を理解し、課題追究学習を通して、主体的に考察する。 			中間・期末
	第2編 現代の社会と人間としてのあり方・生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特質について理解を深め、より良い社会や生き方について考察する。 			
第1章 青年期と自己の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義を理解し、より良く生きることを追究することの大切さを理解する。 				
第2章 個人の尊重と法の支配	<ul style="list-style-type: none"> ・個人と国家について社会契約説をもとに考察するとともに、人権保障と法の支配について理解し、民主政治の基本原則について理解を深める。 				
第3章 現代の民主政治と政治参加の意義					
2 学 期	第4章 国際政治の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国会・内閣・裁判所について理解する。 ・地方自治や選挙制度などについて理解し、今後のあり方を考察する。 ・国際社会について理解し、領土問題や人種・民族問題といった諸課題と日本のあり方について考察する。 			中間・期末
	第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の産業構造と企業の役割を理解し、企業の社会的責任について考察する。 ・市場経済の働きや政府の経済的役割、金融機関の働きについて、実際の生活との関わりに注目しながら理解する。 ・現代の経済的諸問題について、国民福祉向上の観点から考察する。 ・資本主義経済と社会主義経済の変容や現代の国際経済の現状について理解する。 			
3 学 期	第6章 国際経済の動向と日本の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済における諸課題と日本のあり方について考察する。 			学年末
	第7章 民主社会に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と生命の尊重や民主社会における自由、平等についてより深く理解し、より良い社会のあり方を考察する。 			

科目名	数学A	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂 新数学A (東京書籍) ニューファースト新数学A (東京書籍)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	数学的活動を通して関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み ・ノートのまとめ方 ・説明を聞く態度 ・身だしなみ 	
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査 	
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の仕方を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 	
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数に関して成り立つ和の法則・積の法則を正しく用いることができるようにする。 ・順列と組合せの意味を理解し、場合の数を求めることができるようにする。 			中間・期末
	2節 確率(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・確率についての基本的な性質を理解し、いろいろな事象の確率を求めることができるようにする。 			
2 学 期	2節 確率(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・独立な試行の意味を具体例を通して理解し、反復試行の確率を組合せの公式を活用して求めることができるようにする。 			中間・期末
	2章 図形の性質 1節 三角形の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・外角の場合も含めた角の二等分線と辺の比の関係、重心、内心、外心などの性質を扱い、これらの図形の性質を図形の考察に活用できるようにする。 			
	2節 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・円に内接する四角形の性質及び四角形が円に内接するための条件、円の接線と接点を通る弦とのなす角の性質、方べきの定理及び二つの円の位置関係などを扱い、これらを図形の性質の考察に活用できるようにする。 			
	3節 作図	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を基にして、平行な直線、線分を与えられた比に内分する点や外分する点、1の大きさの線分が与えられたときのある大きさの線分などが作図できるようにする。 			
3 学 期	4節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での学習内容を踏まえ、2直線や2平面の位置関係や直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質を理解する。 			学年末
	3章 整数の性質 1節 約数と倍数 2節 整数の性質の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・整数の約数、倍数に関する基礎的な事柄を扱い、それらを具体的な問題の解決に活用できるようにする。 ・最大公約数を求める方法としてユークリッドの互除法を理解させ、その有用性を認識させる。 ・整数の性質をいろいろな事象の考察に活用する。 			

科目名	数 学 II	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組 (選択) 普通科 2年2組 (選択)	
学習の到達目標	式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数の考え方について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。			教科書・副教材等	改訂版 新編 数学II (数研出版) パラレルノート 数学II (数研出版)	
評 価 規 準						
観 点	評 価 規 準			方 法		
関心・意欲・態度	数学的活動を通して、関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に進んで活用できる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取り組み ・ノートのまとめ方 ・説明を聞く態度 ・身だしなみ 		
数学的な見方や考え方	数学的活動を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学にとらえ論理的に考えとともに、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・ノートのまとめ方 ・発問に対する応答 ・定期考査 		
数学的な技能	事象を数学的に考察し、表現・処理する方法や推論の方法を身に付け、自らの考えを数学的に表現し根拠を明らかにして説明することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 		
知識・理解	基本的な概念、原理・法則、用語及び記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解答 ・発問に対する応答 ・プリント ・定期考査 		
学 習 計 画						
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と方程式の解 第2節 高次方程式			<ul style="list-style-type: none"> ・整式の除法を理解し、分母が2次程度の分数式の計算方法や、恒等式について理解する。 ・等式・不等式の証明を理解し、それを通して論証についての理解を深める。 ・2次方程式が常に解を持つようにするために、数を複素数まで拡張することができるようにする。 ・解の公式、判別式や解と係数の関係を用いて、2次方程式の解のいろいろな性質を調べることができるようにする。 ・剰余の定理や因数定理を学び、高次方程式の解法を考えることができるようにする。 		中間・期末
2 学 期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域			<ul style="list-style-type: none"> ・座標平面上において、2点間の距離や線分の内分点、外分点、点相互の位置関係を考察することができるようにする。 ・いろいろな条件を満たす直線の方程式を求め、2直線の位置関係を傾きの関係でとらえることができるようにする。 ・いろいろな条件の円の方程式を求め、円と直線の位置関係を、連立方程式の解、円の中心と直線の距離から考察することができるようにする。 ・軌跡の概念を理解し、計算により軌跡を求める。x、yの不等式は座標平面上のある範囲を表すことを理解することができるようにする。 		中間・期末
3 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理			<ul style="list-style-type: none"> ・一般角の概念を理解し、弧度法を用いて扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。 ・一般角の三角関数の定義を理解し、周期性や対称性に注目してグラフをかくことができるようにする。 ・三角関数についての方程式や不等式を、単位円やグラフを用いて解くことができるようにする。 		学年末

科目名	生物基礎	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 2 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象への関心を高める。 3 生物学的に探究する能力と態度を育てる。	教科書・副教材等	新編 生物基礎 (啓林館) Navi&トレーニング 生物基礎 (啓林館)		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・実験への取り組み ・課題の提出状況 ・ノート 	
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・実験レポート (考査) 	
観察・実験における技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・実験の習熟度 ・実験データの処理 (計算、作図) ・発表の方法 	
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けることができる。			<ul style="list-style-type: none"> ・問題プリント ・実験レポート ・発表の内容 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学 期	第1部 生物の特徴 第1章 生物の共通性と多様性 第2章 細胞とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解する。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。その際、呼吸と光合成の概要を学ぶ。 			中間・期末
	第2部 遺伝子とその働き 第1章 遺伝情報とDNA 第2章 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解する。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解する。 			
2 学 期	第3章 遺伝情報とタンパク質の合成	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解する。 			中間・期末
	第3部 生物の体内環境とその維持 第1章 体内環境と恒常性	<ul style="list-style-type: none"> ・体液濃度の調節により、体内環境が保たれていることを理解させる。その際、血液凝固や腎臓の塩類濃度調節について学ぶ。 			
	第2章 体内環境の維持のしくみ 第3章 免疫	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解する。 ・細胞が病原体の侵入を防ぐために、異物を認識し、排除するしくみを理解する。 			
3 学 期	第4部 生物の多様性と生態系 第1章 植生の多様性と分布 第2章 生態系とその保全	<ul style="list-style-type: none"> ・植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解する。 ・気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解する。 ・生態系において物質が循環すること及びそれに伴ってエネルギーが移動することを理解する。 ・生態系のバランスについて理解する。 			学年末

科目名	体育	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科2年1組、普通科2年2組
学習の到達目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を習得したり、高めたりして、運動の楽しさや喜びを体験する。 2 体の調子を整えたり、仲間との交流を自主的・計画的・積極的に育成したりする資質を身に付ける。 3 公正・協力・責任などの社会的な態度を育て、健康・安全に留意し生涯を通じて継続的に運動できる能力や態度を育成する。	教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート (大修館書店)		
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全に留意し互いを尊重して練習や試合を自主的に行うとともに、公正な態度が取れるようにしている。 互いに協力し、自己に適した楽しみ方ができるよう積極的に取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 参加意欲の観察 活動状況の観察 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 特性に応じた動きを選択し工夫して練習を行い、互いの動きを評価しようとしている。 全員が楽しめるようにルールを工夫し、アイデアを出し合って学習を進めている。 			<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 	
技 能	<ul style="list-style-type: none"> ゲームで役立つチーム練習や戦術を、他者と協力して高めようと工夫している。 集団的、個人的技能を活用し、学習段階に応じた作戦を立てゲームに取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 活動状況の観察 スキルテストや記録会の結果の分析 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 互いに練習計画を立てたり、試合の運営をしたりしている。 個々の能力に応じた課題やチーム課題の解決を目指して、計画的な練習や試合をしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ゲームの中の審判等の実施状況の観察 理解状況の観察 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学期	1 体育の学習について 2 体育理論 3 体づくり運動 4 球技・武道（選択） （男子）サッカー ソフトボール ハンドボール 柔道・剣道 （女子）バスケットボール バレーボール バドミントン 柔道・剣道	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会におけるスポーツの意義や必要性、スポーツライフの設計と実践についての理解を深める。 集団行動の意義や行い方を理解する。 自己の体力や生活に応じた体づくりを行うことができるように、体づくり運動を計画的に実践していく方法を学習する。（球技） 技能に応じた攻め方・守り方とルールを工夫して練習やゲームができるようにする。 攻防の作戦を立てて勝敗を競い合う過程で楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 互いが協力して作戦を立てて、集団技能や個人的技能を活用して試合ができるようにする。 			実施なし
2 学期	1 体操・ダンス 2 球技・武道（選択） （男子）サッカー ソフトボール ハンドボール 柔道・剣道 （女子）バスケットボール バレーボール バドミントン 柔道・剣道 3 陸上競技（中長距離走）	<ul style="list-style-type: none"> （武道） 武道の伝統的な考え方や行動の仕方を学び、相手を尊重する態度と自己の能力に応じた技を習得して相手の動きに対応した攻防ができるようにする。 （体操・ダンス） リズムの取り方や動き方、相手との対応の仕方などを工夫して踊りを楽しみ、他者と交流することができるようにする。 （陸上競技） 自己に適したペースで走ることができ、自己の記録に挑戦できるようにする。 			実施なし
3 学期	球技（選択） （男子）バスケットボール サッカー、卓球 （女子）バスケットボール バレーボール、卓球	<ul style="list-style-type: none"> 動きを持続する能力を高める運動ができるようにする。（体育理論） 技術の特徴に応じた学習の仕方があることや、技能を高めるために何をどのように取り組めばよいのか、健康・安全をどのように確保するのかなどの運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 			実施なし

科目名	保健	単位数	1	学科・学年・学級	森林環境科2年1組、普通科2年2組
学習の到達目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。			教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版 現代高等保健体育ノート (大修館書店)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 板書事項だけでなく、自分で探した健康に関する情報を収集しようとしている。 自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組んでいる。 			<ul style="list-style-type: none"> ノート レポート内容 授業観察 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 個人、社会生活における心身の健康や安全に関する課題を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えるようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 保健に関する情報をスクラップし、自分の考えを示す。 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 健康安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について、課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 各学期末考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考 査
1 学 期	2 生涯を通じる健康 (1) 思春期と健康 (2) 性意識と性行動の選択 (3) 結婚生活と健康 (4) 妊娠・出産と健康 (5) 家族計画と人工妊娠中絶 (6) 加齢と健康 (7) 高齢者のための社会的とりくみ (8) 保険制度と保健サービスの活用	<ul style="list-style-type: none"> 思春期における体の発達の特徴、行動面・心理面の特徴について学習する。 性意識の男女差を、性的欲求のあらわれ方の違いを例にして学習する。 結婚生活についての基本的な考え方や結婚生活が家庭の健康作りに大切な役割をになっていること、また受精・妊娠・出産の過程を学習する。 家族計画の意義や避妊法・人工妊娠中絶のリスクについて学習する。 加齢にともなう心身の変化について、また、中高年期を健やかに過ごすためにはどうしたらよいか、高齢者の生活と健康および高齢社会について、また保健行政のしくみなどについて学習する。 			期 末
2 学 期	(9) 医療制度と医療費 (10) 医療機関と医療サービスの活用 3 社会生活と健康 (1) 大気汚染と健康 (2) 水質汚濁と健康 (3) 土壌汚染と健康 (4) 健康被害の防止と環境対策 (5) 環境衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険および医療費について、しくみや内容について理解し、地域における保健・医療機関と福祉施設の連携や医療サービスの仕方について学習する。 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染についての原因物質や、どのように健康に影響するのかなどについて学習する。 環境汚染による健康被害をふせぐためにはどうしたらよいか問題点を発見したり、解決方法を考えたりする。 			期 末
3 学 期	(6) 食品衛生活動のしくみと働き (7) 食品と環境の保健と私たち (8) 働くことと健康 (9) 労働災害・職業病と健康 (10) 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> 食品の安全性と食品衛生行政のしくみや衛生管理方法、食品の安全性を確保するためのさまざまな情報について正確な知識を身に付ける。 働く人の健康問題や労働災害・職業病とその予防、心と体の健康作りに関して知識を持ち日常生活における取り組みについて学習する。 			学 年 末

科目名	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。			教科書・副教材等	Revised ENGLISH NOW English Communication Ⅱ (開隆堂)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言、発表の内容 ・課題提出、ノートの作成状況	
外国語表現の能力	・英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。			・小テスト、定期考査 ・課題の内容	
外国語理解の能力	・英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。			・定期考査、課題テスト ・教科書の内容や関連事項についてのQ&A	
言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	友達にインタビューする Lesson 1 My Hometown Lesson 2 <i>Eekanji</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな英語表現に触れる活動をし、英語でのコミュニケーションに慣れ親しむ。 ・ALTの故郷について意見交換する。 ・現在完了進行形の使い方について理解する。 ・漢字の表す意味を説明する。 ・過去完了形の使い方について理解する。 ・日本文化についてまとめ、発表する。 			中間・期末
2 学 期	Lesson 3 A Dog's Tale Reading 1 Why Did Grandpa Become a Ghost? Let's Communicate①	<ul style="list-style-type: none"> ・介助犬の図書館での役割について理解する。 ・知覚動詞の使い方について理解する。 ・非言語コミュニケーションについて知る。 ・物語を読んで、登場人物の心情や気持ちを理解する。 ・自分が登場人物ならどのように行動するかを想像する。 ・スキヤニングやスキミングを使って、情報交換する。 			中間・期末
3 学 期	Lesson 4 Wonders of Japan Lesson 5 Personal Space	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人旅行者が日本で驚いたことや感心したことを読み取る。 ・to不定詞の構文について理解する。 ・日本の魅力について英語で説明する。 ・話す相手との距離感についての文化の面での違いを知る。 ・関係代名詞whatを含む構文について理解する。 			学年末
【技能審査の成果の単位認定】					
・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語Ⅰ」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	英語表現 I	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。			教科書・副教材等	DUAL SCOPE English Expression I (数研出版) SEED総合英語[四訂新版] (文英堂)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。			・授業態度 ・発言、発表の内容 ・ペアワークやグループワークの活動状況	
外国語表現の能力	・事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら、英語で伝えることができる。			・小テスト、定期考査 ・教科書の内容やその関連事項についてのQ & A	
言語や文化についての知識・理解	・英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。			・定期考査、課題テスト ・課題の達成状況	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	オリエンテーション	・辞書の使い方を学ぶ。英語の基礎知識をつける。			中間・ 期末
	Lesson 1	・英語の型で表現する。			
	Lesson 2 Lesson 3	・さまざまな「時」を表現する。 ・動名詞を使って表現する。			
2 学 期	Lesson 4	・受動態を使って表現する。			中間・ 期末
	Lesson 5	・不定詞を使って表現する。			
	Lesson 6	・動名詞を使って表現する。			
	Lesson 7	・分詞を使って表現する。			
3 学 期	Lesson 8	・比較を使って表現する。			学年 末
	Lesson 9	・関係詞を使って表現する。			
	Lesson 10	・仮定法を使って表現する。			
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「実用英語技能検定2級」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「コミュニケーション英語I」の単位数に3単位を加えることができる。					

科目名	生活実践	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 衣食住、環境、家庭経済、マナーなどに関する青年期に必要な生活技術や知識を習得する。 2 生涯の生活をより良くするための課題解決学習に取り組み、実践する能力と態度を育てる。 3 技術検定を受験し、技術力の定着を図る。	教科書 ・ 副教材 等		最新生活ハンドブック (第一学習社) 家庭科ノート 調理実習ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会編)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
主体的に学習に取り組む態度	家庭生活に関する諸問題に関心を持ち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組み、創造的、実践的な態度を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度や発表等 課題やノート、ワークシート 作品 	
思考・判断・表現	家庭生活に関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> 課題やノート、ワークシート、感想 実習の計画、記録 作品 定期考査 	
知識・技能	家庭生活やマナーに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、理解している。			<ul style="list-style-type: none"> 課題やノート、ワークシート 実習態度・作品 定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 自分を見つめる (1) 人生の目標と経済計画 (2) 10年後の私 (3) コンテスト出品計画	<ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルにおける青年期の役割を考え、ライフプランを作成する。また、収入と支出などの家計の管理やカード社会に関する理解を深め、公的年金や保険についても考える。 家庭基礎で学んだ内容を踏まえ、各種家庭科に関するコンテストに応募し、技術の向上・表現力を高める。 			期 末
	2 生活での実践力を身につける (1) 食事編 食物調理技術検定4級 (2) 被服編 被服製作技術検定4級 (3) 保育・福祉編	<ul style="list-style-type: none"> 栄養・食品・調理に関する知識と技術を習得し、充実した食生活を営むことができるようにする。 技術検定に挑戦し、技術向上を図る。 被服の製作に関する知識と技術を習得し、充実した衣生活を営むことができるようにする。 技術検定に挑戦し、技術向上を図る。 乳幼児や高齢者の心身の特徴を理解し、現状と課題を考える。 交流を通して、実践力を身に付ける。 			
3 学 期	3 住まい方を考える	<ul style="list-style-type: none"> 家族の形態や暮らし方を想定した住居の平面計画・インテリア計画ができるようにする。 			学 年 末
	4 マナーを身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 洋食献立におけるテーブルマナーを学ぶ。 茶道の実践を通して、礼儀や文化について考え、もてなしの心を養う。 			
	5 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校における問題や課題を見つけ、グループで学習する。 			

科目名	総合実習	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 農林業の各分野についての実験・実習など、 実際の、体験的な学習を通して、総合的な技術 を習得し、経営と管理についての理解を深め 2 農林業の経営や管理の改善に必要な管理能力 や企画力、コミュニケーション能力など、実践 的な能力と態度を育てる。 3 農林業の各分野における総合的な実習を通し て、地域農林業の実態を理解する。	教科書 ・ 副教材 等	なし		
評価規準					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 農業生物の育成や農林業の社会的な役割など農林業と農林業の学習に興味・関心をもっている。 農業生物の育成に関するプロジェクトを主体的に行い、栽培管理や作業体系を改善するなど実践的な態度を身に付けている。 プロジェクト学習の進め方に関心を持ち、それに対して研究テーマをもって取り組もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 実習への参加の仕方や態度 レポート 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 農林業の特性と農林産物の栽培管理方法について多面的に考察し、栽培方法や加工技術などの基礎的な知識・技術を活用した課題解決に向けての実践的な能力が身に付いている。 各専攻分野における技能が身に付いている。 			<ul style="list-style-type: none"> レポート 発表の内容や仕方 	
技能	<ul style="list-style-type: none"> 農業生物の育成や生産物の活用、測量技術の習得など農林業に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 プロジェクト活動の記録や考察が正確にできる。 			<ul style="list-style-type: none"> レポート 発表の内容や仕方 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 農業生物や林産物の育成、生産物の有効利用など、農林業に関する基礎的な知識を身に付けている。 農林業と人間生活の関係について理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> レポート 発表の内容や仕方 定期考査 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1 学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 2 収穫・調整・販売 ○育林 1 育苗 2 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅰ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表 3 農業鑑定競技	<ul style="list-style-type: none"> 野菜、草花栽培に必要な作業内容の概要を学ぶ。 ヒノキ苗の育苗に必要な床がえ作業を行い、その目的と方法について学習する。 除草作業の目的を理解し、雑草との競合を避けることの重要性を学習する。 下刈り作業を実施し、並行して行うつる切りの目的を理解する。 板材の製材について、基本的な技術を習得する。 桁目・板目の特徴について学習する。 角材の製材について、基本的な技術を習得する。 木材の性質を学び、有効な木材利用の基礎知識を学習する。 農業鑑定競技実施基準の中から、林業に関する実物鑑定を行う。 栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。 日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。 			実施なし
2 学期	○園芸 1 野菜、草花の管理 ○育林 1 保育管理 ○林産加工 1 製材の実習Ⅱ ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動 2 意見発表	<ul style="list-style-type: none"> 野菜、草花栽培に必要な作業名と作業内容の概要を学習する。 次年度の採種と採種圃の管理の関わりについて理解する。 はしご及び木登り器を用いた枝打ちを実施し、枝打ちに関する知識・技術を身に付ける。 剥皮など、特殊な木材加工を体験し、多種多様な木材加工技術と知識を学習する。 実際に木材を加工しながら、木材の性質に関する知識や加工技術を身に付ける。 栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。 日頃の生活の中で関心を持った分野について自分の意見をまとめる。 			実施なし
3 学期	○園芸 1 圃場の整備 2 播種及び育苗管理 ○育林 1 農具の手入れ 2 温室管理 ○林産加工 1 キノコの人工栽培 ○農業クラブ活動 1 プロジェクト活動	<ul style="list-style-type: none"> 圃場の整備を行い、作業の効率化の大切さを学ぶ。 夏野菜の苗の育て方について学習する。 カマの研磨やチェーンソの手入れ方法について学習する。 さし木床の管理を行い、育苗に必要な知識を身に付ける。 木材加工で発生するおがくずでのキノコ生産等、栽培をとおして資源の再利用について学習する。 栽培・管理をとおしてプロジェクト活動を行う。 			実施なし

科目名	林業と情報	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組(選)
学習の到達目標	1 社会における情報化の進展、及び通信技術の向上に伴う新たな産業を知ると共に、その仕組みと利用・活用方法について理解する。 2 パソコンにおいて、代表的なソフトウェアの基礎から応用までを学習し、農業に関する各分野でデータを分析・処理し、活用する能力を養う。		教科書・副教材等	自作教材	
評価					
観点	評価規準			方法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 情報機器への興味、関心がある。 コンピュータなどの技術進歩に関する興味、探求心がある。 ソフトウェア活用における技能向上への意欲、集中力、持続力がある。 			<ul style="list-style-type: none"> 学習用具の準備 授業への取り組み 課題に取り組む姿勢 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理での最適な流れの思考、判断ができる。 ソフトウェアにおけるデータの特徴を生かした情報の計画が立てられる。 			<ul style="list-style-type: none"> 課題への取り組み 定期考査 	
技能	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア、ソフトウェアの操作技能がある。 技術検定に対する意欲、向上心がある。 			<ul style="list-style-type: none"> 技術検定 定期考査 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 情報関連用語を理解できる。 ハードウェア、ソフトウェアの原理の理解できる。 農業へ応用する知識がある。 			<ul style="list-style-type: none"> 課題の内容 定期考査 	
学習計画					
	学習内容	学習のねらい			考査
1学期	1 表計算ソフトウェアの利用 (1) 表の作成と表計算、グラフの作成	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトの代表的な関数について理解する。 関数を用いて表の作り方を身に付ける。 作表した表をもとにグラフの作り方を理解する。 情報処理検定3級程度。 			期末
2学期	(2) 表計算ソフトウェアの応用 2 マルチメディア (1) マルチメディアの概要 (2) マルチメディアによる情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトのデータ入力、作表、グラフの作成という基本操作の復習と、応用的な関数について学ぶ(情報処理検定2級程度)。 多様なメディアとその特徴、利用目的に応じたメディアの選択などについて学ぶ。 文字、画像、音声などの情報のデジタル化、ネットワークを介しての情報のやり取りなどを学ぶ。 			期末
3学期	(3) 新しいマルチメディアの産業と技術 (4) マルチメディア社会の注意点	<ul style="list-style-type: none"> 電子商取引やSOHO、GPS、通信など、マルチメディア技術を利用した産業や日々進歩する新しい活用法を理解する。 情報洪水と呼ばれる現象とその対応や技術的、倫理的なマナーなどについて学ぶ。 			学年末
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「全国商業高等学校協会主催情報ビジネス検定1級」または「全国商業高等学校協会主催情報処理検定1級(ビジネス部門)」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「農業情報処理」の単位数に2単位を加えることができる。					

科目名	森林科学	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 森林の仕組みと機能を知り、地域ごとの自然環境に適した管理の知識を学ぶ。 2 森林生態系と材木の生育特性を理解するとともに、森林を統合的に利用できる力を身に付ける。 3 森林を保全、再生する場面で活用できる応用力を養う。	教科書・副教材等			森林科学（実教出版）
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 森林の育成、保全と利用に関心を持ち、育苗、造林、森林保育を意欲的に実践しようとするとともに、森林生態系と林木の生育特性について科学的にとらえようとする実践的な態度を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 学習用具の準備 学習活動への取り組み ノート作成 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 森林の育成、保全と利用について多面的に考察し、育苗、造林、森林保育の実践方法を適切に判断するとともに、地域の森林づくりに提言を行える創造的、実践的能力を身に付けている。 森林生態系、林木の生育特性について行った観察や考察を適切に表現している。 			<ul style="list-style-type: none"> レポート作成 定期考査 	
技能	<ul style="list-style-type: none"> 森林の育成、保全と利用について技術を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 発表の内容や仕方 レポート作成 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 森林の育成、保全と利用に必要な知識を身に付け、育苗、造林、森林保育の技術と森林生態系、林木の生育特性との関係を理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への取り組み 定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 森林と育林 2 育苗と造林 3 苗畑の管理 4 人工更新と天然更新	<ul style="list-style-type: none"> 森林の役割について学び、わが国の森林育成、保全、利用における課題について学習する。 森林造成のもとになる苗木の作り方と森林造成の基礎を学習する。 実生苗やさし木苗の養成などの実験・実習を通して、苗木の生育と環境との関係について理解する。 神光2号（ヒノキ）の、さし木苗の育成方法を学習する。 苗畑の管理（床づくり、施肥、床がえ等）苗木の管理技術、器具の取り扱い方を学ぶ。 			中間・期末
2 学 期	5 主な林木の造林方法 6 林木の生育と環境 (1) 主な樹種の性状 (2) 林木の生育特性	<ul style="list-style-type: none"> 目的樹種の生理、生態特性を学習し、それぞれに応じた造林方法を学ぶ。 演習林などで実物の観察を行う。 主な樹種の性状、樹木の識別への関心と能力、樹種特性を学習する。 葉の形状、枝の付き方、樹皮、花、芽の状態から樹木を判断できるようにする。 林木の生育特性に関する知識を学ぶ。 			中間・期末
3 学 期	(3) 林木の生育と環境因子	<ul style="list-style-type: none"> 林木の生育と環境要因が林木に与える影響に関する知識を学ぶ。 寒冷地における林木の種類と生育状態を観察し、久万高原町の自然環境についての学習を行う。 			学年末

科目名	林産物利用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組
学習の到達目標	1 林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得し、循環資源としての木材の在り方を考える。 2 林産物の特性を理解するとともに、林産物の多様な利用を図る能力と態度を育てる。			教科書・副教材等	林産物利用 (実教出版)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 木材加工の実習に対して、積極的に取り組むことができる。 他と協力して、安全かつ確実に作業を行うことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 実習への取り組みと姿勢 ノートの点検 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 機器を正しく取り扱い、部品を正確に加工や組み立てすることができる。 自分や他人に対して安全に実習を行うことができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 実習中の観察 	
技能	<ul style="list-style-type: none"> 正確な板取が行える。 木材を正確に切断することができる。 部品を正確に接合することができる。 美しく塗装することができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 実習中の観察 実技試験 作品の評価 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 木材の用途と特性の関係について理解している。 工作機械を安全に使用方法を理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1章 林産物利用の意義と動向 (1) 森林・林業と林産物利用 (2) 林産工業の現状と動向	<ul style="list-style-type: none"> 森林や林業の現状を確認することにより、木材消費を伸ばすために木材加工の技術が必要であることを理解する。 			中間・期末
2 学 期	第2章 木材の性質と用途 (1) 木材の用途 (2) 木材の構造と性質	<ul style="list-style-type: none"> 木材を利用した加工品を紹介し、その特性を生かすために必要な木材の性質を学び、有効な木材利用に関する基礎知識を身に付ける。 			中間・期末
	(3) 木材の加工 ア 木工器具の取り扱い ・さしがね ・ノコ ・ノミ イ 木工機器の取り扱い ・ジグソー ・ルーター ・トリマー ウ 木材の接合 ・留め継ぎ ・相欠き継ぎ ・ほぞ継ぎ ・だぼ継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> 木材を加工しながら、工作機器の使用法や木材の加工技術・加工方法について学習する。 正確に採寸・切断を行う技術を身に付ける。 採寸通りに木材を加工する技術を身に付ける。 木材の使用目的に応じた接合方法に関する技術を身に付ける。 			
3 学 期	(4) 作品のデザイン・設計 ア 作品のデザイン イ 設計図の作成 ウ 木取り図の作成 エ 塗装	<ul style="list-style-type: none"> 様々な木工作品を鑑賞し、オリジナルの作品を作成するための準備を行う。 デザイン画の作成の仕方について学習する。 設計図の書き方について学習する。 設計図をもとに、木取り計画を学習する。 作品の塗装効果について学習する。 			学年末
【技能審査の成果の単位認定】 ・在学中に「危険物取扱者（乙種1類～6類）」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「林産物利用」の単位数に各1単位を加えることができる。					

科目名	測量	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組(選)
学習の到達目標	1 測量に使用される様々な器械の特徴や誤差の意味、測量で取り扱う土地の面積の意味を理解する。 2 様々な測量を通して、目的に応じた測量方法の選択、効率的な手順、更に測量結果の処理という一連の計画を立てる力を養う。			教科書・副教材等	農業測量 (実教出版)
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 測量で扱う土地の意味を理解し、様々な目的に応じた測量法に興味、関心がある。 技術の向上を図ろうとする意欲がある。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の仕方や態度 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 測量から図面作成、その利用目的までの流れを理解している。 測量で得られたデータを正しく記録し、そのデータをもとに信頼できる結果を導き出せる。 			<ul style="list-style-type: none"> 面積計算 定期考査 	
技能	<ul style="list-style-type: none"> 測量方法と作業内容から、班内での役割を理解している。 計算により得られたデータから、正確できれいな図面作成ができる。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の仕方や態度 作成図面 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 測量器械・道具に対する知識を身に付けている。 測量データを整理して野帳に記入する力を身に付けている。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業への参加の仕方や態度 定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 測量の役割 (1) 地理空間情報と測量の役割 (2) 座標系と基準点 (3) 測定値の処理と表現	<ul style="list-style-type: none"> 地理空間情報活用推進基本法や利用例から、地理空間情報の意味や情報通信ネットワーク社会の基盤としての役割を理解させるとともに、地理空間情報技術としての測量の役割や技術革新の動向に興味と関心をもたせる。 座標系と基準点の基本的な内容を理解させ、世界測地系や電子基準点など扱うことにより、測量への興味と関心をもたせる。 測量における測定値の誤差と処理の流れの概要及び測量結果である位置情報の図面や画像への表現について理解させる。また、情報技術の利用や位置情報に他の情報を関連付けた地理空間情報の表現についても興味と関心をもたせる。 			中間・期末
2 学 期	2 平板測量 (1) 平板測量の内容 (2) 平板の標定 (3) 道線法 (4) オフセット野帳 (5) 面積計算	<ul style="list-style-type: none"> 平板の致心、整準、定位において、チーム内での作業内容を理解し、正確性、スピードの向上を目指す。 道線法による作業内容を理解するとともに、誤差の生じる原因を理解し、正確性、スピードの向上を目指す。 測量で扱う土地の面積の意味を理解する。 			中間・期末
3 学 期	3 地理空間情報 (1) 地理情報システムの原理と役割 (2) 地理情報システムの利用 (3) 地理空間情報の利用	<ul style="list-style-type: none"> 実習を通して、地理情報システムの基本的な原理及びデータの種類と処理について理解させ、空間情報を利用できるようにする。 			学年末
【技能審査の成果の単位認定】					
<ul style="list-style-type: none"> 在学中に「測量士補」を取得した場合は、申請すると技能審査の成果の単位認定が行われ、「測量」の単位数に3単位を加えることができる。 					

科目名	生物活用	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科 2年1組(選)
学習の到達目標	1 緑のある環境・園芸や社会動物の特性と効用について理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2 園芸作物の栽培と活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。	教科書・副教材等	生物活用	(実教出版)	
評 価					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物に興味・関心を持ち、学習活動への積極的な参加がなされている。 久万高原町の気候や温度、園芸作物に目を向け、その特徴や問題点について関心を持っている。 			<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への参加の仕方や態度 レポート ノート 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 栽培プロジェクトを通して、計画、実施、評価、反省ができています。 			<ul style="list-style-type: none"> レポート 栽培記録プリント 定期考査 	
技能	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物の育成に関するプロジェクト活動を適切に実施している。 実習や生育調査活動後の記録を正確にできる。 			<ul style="list-style-type: none"> レポート 定期考査 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 野菜栽培を通して、地域の自然環境と地域農業について理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> 栽培記録プリント 定期考査 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	1 草花の栽培と活用 (1) 草花の種類と特性 (2) 園芸デザイン (3) フラワーデザイン 2 野菜・ハーブの栽培と活用 (1) 夏野菜栽培プロジェクト ア 課題設定・栽培計画 イ 実施・評価・反省	<ul style="list-style-type: none"> 園芸作物の活用が果たしている社会的な役割を理解し、生物の活用に興味と関心を持てるよう学習する。 夏野菜を栽培し、園芸活動に必要な知識と技術を身に付ける。 1年時の経験をもとに、各班で栽培計画を立て、栽培プロジェクトを実施する。 フラワーデザインの基本技術を身に付ける。 			中間・期末
2 学 期	(2) 秋冬野菜栽培プロジェクト ア 課題設定・栽培計画 イ 実施・評価・反省 (3) 野菜の加工・利用	<ul style="list-style-type: none"> 秋冬野菜を栽培し、園芸活動に必要な知識と技術を身に付ける。 各班で栽培計画とその活用方法を立て、栽培プロジェクトを実施する。 班別に生育の記録をまとめ、各班で行ったプロジェクトの結果から、良かった点、反省点を洗い出し、班同士で相互評価を行う。 野菜の貯蔵・加工方法を理解し、その活用技術を身に付ける。 			中間・期末
3 学 期	3 動物の飼育と活用 (1) イヌの飼育と活用 (2) ネコの飼育と活用 4 生物を活用した療法 (1) 園芸療法 (2) 動物介在療法	<ul style="list-style-type: none"> 社会動物の飼育と活用について理解するとともに動物とのふれあいや飼育がもたらす心理的効果や身体的効果について考える。 生物を活用した療法について学び、生徒自らが行える範囲の活動と専門的な療法との違いを理解できるようにする。 			学年末